

令和5年度第2回「稚内市子ども・子育て審議会」議事録

○日 時：令和5年12月18日（月）15時00分～15時45分

○出席委員：江川 善次 委員、小林 伸行 委員、鎌田 佳恵 委員、
竹田 由貴恵 委員、白川 哲也 委員、本山 哲司 委員 計 6名

○欠席委員：阿部 光宏 委員、竹田 俊成 委員、沓掛 美弓 委員 計 3名

○傍聴者：なし

○事務局：教育部長 秋山 淳一
こども課長 荒山 朋実
子ども・子育てグループ 主査 守谷 愛
主査 牧野 竜二
主任 坂田 朋也
主任 津田 祐也

○オブザーバー：株式会社ぎょうせい 研究員（ニーズ調査 受託事業者）

1. 開会

2. 挨拶

○ 秋山 教育部長

本日は、ご多忙にもかかわらず稚内市子ども・子育て審議会にご出席いただき誠にありがとうございます。

本日の議題は来年度策定予定の子ども・子育て支援事業計画のもととなるニーズ調査についてが主なものとなります。

委員の皆様におかれましては、限られた時間ではありますが、ご審議のほどよろしくお願いいいたします。

（続いて、江川会長から挨拶があった。）

○ 江川 善次 会長

今回のニーズ調査は今後の子ども・子育て施策を左右する重要なものだと考えています。よりよい調査とするために意見を出し合いたいと思っていますのでご協力よろしくお願いいいたします。

3. 議事（議長：江川会長）

(1) 第三期稚内市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査の実施について

事務局からニーズ調査案に基づき、各調査項目について説明を行った。また、ニーズ調査受託者である株式会社ぎょうせいの研究員から国の調査要領などの説明がされたのち、質疑応答に移った。

○ 本山 哲司 委員

質問によっては、複数回答か一つのみを選択するものかが分からないものがあるように思いますが（小林委員からも同様の質問あり）。

○ 事務局及び株式会社ぎょうせい

再度、すべての質問を確認し修正します。

○ 小林 伸行 委員

質問に入る前の最初のページですが、回答はボールペンで行ってほしいなど筆記方法の指定をしてはいかがでしょうか。また、調査の対象者の説明が調査票の対象者と異なる表現もあるので整理しては。

○ 事務局及び株式会社ぎょうせい

表現含め修正します。

○ 小林 伸行 委員

質問によっては同じ質問や似た質問が繰り返されているものもあります。別にして理由は何かありますか。

○ 事務局及び株式会社ぎょうせい

前回調査で行った質問と今回の調査における質問が混在しているようなので、修正します。

○ 小林 伸行 委員

家族構成についての質問で末子の年齢を問うものがあります。回答の一覧をみると、どれも選べない、どの回答にも含まれない世帯もあると思うのですが、再度調整してはいかがでしょうか。

○ 事務局及び株式会社ぎょうせい

配布する世帯の抽出方法等によっても変わるので、それも含め調整させていただきたいと思います。

○ 本山 哲司 委員

今回の調査にはジェンダーについての質問がありません。含んでいない理由がありますか。

○ 事務局

ジェンダーについては特に中学校から意識をし始める傾向にあると聞いているため、今回は含んでいません。

○ 江川 善次 会長

人権擁護委員の関係でもジェンダーについては注意を払っています。現在は日本全体が勉強をしている状況。5年後、次の計画策定の際のニーズ調査では、間違いなく含まれると考えています。

○ 白川 哲也 委員

今回は調査票を配布し、回答者は筆記回答かウェブ回答を選ぶという方法ですが、最近では調査票を配布せず全てウェブのみという調査も増えてきています。経費や事務局の手間も考えると、完全ウェブ調査で行うことも検討してみたいかかでしょうか。

○ 事務局

第二期は筆記回答のみでしたが、今回は初めてウェブ回答も実施します。初めての試みなので、今回は併用させていただき、ウェブ回答がどの程度利用されるのか、その結果をもって今後の調査方法を検討して行きたいと考えています。

(その他、特に意見がなく、今回の意見を反映し、ニーズ調査を実施することが了承された。)

4. その他

○ 江川 善次 会長

今回の議題ではありませんが、稚内市の今年の出生率の低下を気にしています。出生率が低下している中でも、保育園のニーズは一定程度あると認識していますが、幼稚園の入所者数に影響が出て、園自体の運営にも関わってきてしまいます。今後、この審議会においても話題に出る可能性があると考えています。

(その他、特に発言等はなかった。)

6. 閉会

以上